

(様式4)

情報公開文書

課題名 : 帯状疱疹に伴う神経合併症に関する研究
研究期間: 倫理委員会承認日～2025年3月31日

1. 研究の対象

2020年1月～2024年3月に帯状疱疹に伴う神経合併症を発症し、当院脳神経内科で治療を要した患者さん

2. 研究目的・方法

帯状疱疹は三叉神経節や後根神経節に潜伏感染していた帯状疱疹ウイルスが免疫抑制状態において再活性化をきたす病態です。帯状疱疹後の神経合併症として、脳炎、髄膜炎、脊髄炎、Segmental Zoster Paresis(SZP: 帯状疱疹の皮疹部位に一致した運動障害)などがあり、早期に抗ウイルス薬(アシクロビルなど)での治療を要することが多いです。今回、当院で神経合併症を呈した帯状疱疹の臨床経過を後ろ向きに検討することで、帯状疱疹に伴う神経合併症に対する治療効果や神経合併症の経過に関して検討を行いたいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部
情報: 年齢、性別などの基本情報、病歴、治療歴、併用治療の内容、副作用の発生状況、治療前後での身体診察所見、画像所見等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 脳神経内科 伊藤 充子(研究責任者)
住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328
電話: 053-453-7111(病院代表)

2022年11月1日作成